

金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト

令和8年度（4月期）選抜実施要項

<目次>

【重要】申請に際しての留意事項	p. 1
選抜スケジュール	p. 1
0. HaKaSe ⁺ 支援制度及び申請可否の概要	p. 2
1. HaKaSe ⁺ の目的・概要	p. 3
2. 支援概要	p. 5
3. 申請要件	p. 6
4. 申請手続き	p. 9
5. 選抜方法	p. 10
6. 選抜結果発表・採用日	p. 10
7. 採用者の義務	p. 11
8. 個人情報	p. 11
9. その他	p. 12

科学技術振興機構（JST）が実施している「次世代研究者挑戦的研究プログラム（JST-SPRING）」の制度見直しが行われることを踏まえ、令和8年度4月期選抜をこれまでの募集内容から大幅に変更しています。主な変更点は以下のとおりです。申請者及び主任指導（予定）教員は、本選抜実施要項を熟読の上、申請してください。

- SPRING-日本人学生：
申請資格の変更（申請可能在学月数・申請回数の制限の新設）
- SPRING-外国人留学生：
 - ・申請資格の変更（国費外国人留学生の追加、申請可能時期を博士後期・博士課程入学年月と同時期のみ限定（令和8年度4月期募集においては私費外国人留学生にのみ適用）、我が国の科学技術・イノベーションへの貢献に係る申請資格）
 - ・経済的支援内容の変更（奨励金支給対象外、授業料半額免除の適用除外、RA 給与の支給（真に優秀と認められる採用者に限る））
- 予約採用：
申請資格の変更（予約採用者の進学先対象に博士課程（4年制）を追加、医薬保健学域薬学類5年次に進級/在学又は6年次に進級する者に対する申請資格の拡大）

今回募集する HaKaSe⁺ for SPRING 及び HaKaSe⁺予約採用は令和8年度以降も国による博士学生支援事業が継続することを想定したものであり、国による制度の見直しや予算の状況等により、国籍や在留資格に基づく申請資格の変更、支援規模の縮小、内容の変更等の可能性があることを、予めご了承ください。

なお、本選抜実施要項に記載の「日本人学生」はすべて、SPRING 制度見直しに際して示されている「新制度で奨励金（研究奨励費）の支援対象となる学生の整理」（以下 URL 参照）で○が付く者を指す。



URL: <https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/wp2022/wp-content/uploads/2025/12/Eligible-Students.pdf>

【重要】申請に際しての留意事項

博士人材は、「我が国の科学技術・イノベーション」に貢献する人材として期待されています。金沢大学においても、高大院連携による大学院の機能強化、それによる研究力の強化を目指すべき方向のひとつとして掲げ、博士人材の育成・輩出に力を注いでいます。

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト（HaKaSe⁺）」で実施する次の事業はいずれも、本学が国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による機関支援を受けて実施する事業です。

〔HaKaSe⁺ 事業〕

- ・「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト（HaKaSe⁺ for SPRING）
- ・金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト（HaKaSe⁺ for BOOST）
- ・博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用（HaKaSe⁺予約採用）

これらの事業は、日本の科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な博士後期・博士課程学生（以下「博士学生」という。）に対して、経済的不安を抱えることなく研究に専念する環境を整備するとともに、博士人材としてのキャリア開発に資する様々な支援を実施するものです。

そのため、申請者は次の事項を理解した上で本選抜実施要項を熟読し、申請してください。

1. 採用された場合には「我が国の科学技術・イノベーション」に貢献する博士人材育成のための国費による支援を得る者として、学会発表や論文発表など研究成果を創出し、かつ標準修業年限内に本学大学院博士後期・博士課程を修了するとともに博士学位を取得することが求められること
2. 博士後期・博士課程進学への主体性と能動性、博士後期・博士課程における研究遂行への責任を高めるため、HaKaSe⁺ for SPRING と HaKaSe⁺ for BOOST においては、令和 6 年度 4 月期採用者から入学金免除及び授業料免除の適用を限定していること
3. 申請資格又は採用者の義務に抵触する事実が判明した際には、支援の停止、採用の取消、受給したすべての経済的支援の返還等が課されること
4. 国費による支援を受ける選抜学生として、博士後期・博士課程修了後 10 年以上に亘りキャリアの追跡調査対象となること

選抜スケジュール

※本選抜実施要項に記載の日付・時間は、すべて日本時間で示している。

		詳細
申請期間		令和 7 年 12 月 24 日（水）～令和 8 年 1 月 14 日（水） 正午 [必着] ※申請者及び主任指導（予定）教員が提出する申請書類の双方が、申請期間内に到着した申請のみ受け付ける。
面接審査対象可否の通知		令和 8 年 1 月 27 日（火）まで ※面接審査対象者には、面接審査の日時及び詳細をあわせて通知する。
面接審査で用いる スライドデータ 提出期限		令和 8 年 1 月 28 日（水）正午 [必着] ※期限までに提出がない場合は、面接審査を辞退したものとみなす。
面接 審 査	・日本人学生 ・外国人留学生（HaKaSe ⁺ for BOOST 申請者）	令和 8 年 2 月初旬から中旬（土日・祝日を含む）に実施 ※各申請者の面接審査日時は HaKaSe ⁺ が指定する。
	・外国人留学生（HaKaSe ⁺ for SPRING 申請者）	— (原則として書面審査により採用者を決定する。)
選抜結果発表		令和 8 年 3 月末日まで
HaKaSe ⁺ 採用日		令和 8 年 4 月 1 日（水）

0. HaKaSe⁺支援制度及び申請可否の概要

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト（HaKaSe⁺）」令和8年度4月期募集において各事業の事業概要及び経済的支援内容並びに各事業への申請可能な者、申請可否区分は下表のとおりである。

※各事業の支援対象の詳細は、2. 支援概要（1）支援対象となる研究科/学域・課程・専攻/学類等及び3. 申請要件を必ず確認すること。

※p.3以降を熟読の上、申請書類を作成すること。

		「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe ⁺ for SPRING)		金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe ⁺ 予約採用)	
事業実施機関		国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)		国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)	金沢大学独自	
事業内容		研究支援・キャリア形成支援		AI分野及びAI分野における新興・ 融合領域（次世代AI分野）の 人材育成及び先端的研究開発の推進	金沢大学大学院博士後期又は博士課程 進学確約者への経済的支援	
新規募集最終年度		令和8（2026）年度		令和8（2026）年度	—	
定員		169名（全体計）		3名/年度	25名程度/年度	
支援期間 （原則）		博士後期課程 又は博士課程（4年制） の標準修業年限内		博士後期課程 又は博士課程（4年制） の標準修業年限内	博士前期・修士課程 の標準修業年限内 又は医薬保健学域薬学類 5年次及び6年次の標準的な 修業年限（2年間）の範囲内	
学生区分		令和8年4月1日時点	日本人学生	国費及び私費外国人留学生 （「留学」の在留資格を持つ者）	日本人学生及び私費外国人留学生	日本人学生のみ
申請 対象 課程	博士前期・修士課程		×	×	×	○ 在学月数12月以内の者のみ
	学士課程（6年制）		×	×	×	○ 医薬保健学域薬学類5年次又は 6年次に進級している者かつ 5年次進級後の在学月数が 12月以内の者のみ
	博士後期課程		○ ・在学月数12月以内の者のみ ・過去のHaKaSe ⁺ 選抜におい て不採用となった者の再 申請は一度のみ認める （予約採用申請時の不採用は 含めない）	○ 私費外国人留学生は 令和8年度4月期入学者のみ	○ 令和8年度4月期入学者又は 令和7年度4月期入学者のうち 在学月数12月の者	×
	博士課程（4年制）				○ 令和7年度4月期入学者のうち 在学月数12月の者のみ又は 令和6年度4月期入学者のうち 在学月数24月の者	×
経済的 支援 内容 概略	博士前期・ 修士課程 /学士課程 （6年制） 5・6年次	奨励金／月				—
		RA給与				—
	博士後期・ 博士課程	奨励金／月	180,000円	—	250,000円	
		研究費／年	400,000円	400,000円	900,000円	
		RA給与／年	—	上限 約240,000円 （私費外国人留学生に限る） 真に優秀と認められる者に対し、 予算の範囲内で毎年度の適用者を 決定	—	
	旅費等支援		独自支援有	独自支援有	独自支援有	—
	入学科免除		—	—	—	全額免除 ・博士前期・修士課程は採用 年月の入学者のみ ・学士課程（6年制）は博士 課程（4年制）入学時の 入学科に代える
授業料免除		半額免除	—	半額免除	全額免除	
申請資格及び採用者の義務		[3. 申請要件（2）申請資格] 及び [7. 採用者の義務] において確認すること。				

[申請書類]

・ Application Form A-1,
B-1, C-1

・ 成績証明書

・ 主任指導（予定）教員
推薦書

・ Application Form A-2,
B-2, C-2

・ Application Form C-2-1
（該当者のみ）

・ 成績証明書

・ 主任指導（予定）教員
推薦書

※令和8年4月以降において、
所属企業等から給与・役員
報酬等の収入を得る予定の者
にあっては、雇用形態及び
勤務条件並びに収入を証明
する書類
（HaKaSe⁺ for SPRINGのみ
に申請する外国人留学生は
提出不要）

※令和8年4月1日進学／入学
予定者にあっては、各研究科
大学院入学者選抜試験に
おける合格通知書（写）
又は受験票（写）

※HaKaSe⁺ for SPRING申請者
にあっては、HaKaSe⁺ for
SPRING申請者用チェック
リスト（Application Form D）

※外国籍の者にあっては、在留
資格カード（表・裏）（写）
（Application Form Eに
貼付）

学生区分		申請プロジェクト	要件			判断
			学生自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念するための国費による研究費支援※	国内外の機関・法人に在職しながら、本学大学院に在学	収入（生活費相当額として十分な水準（240万円/年）の給与・役員報酬・奨学金等（TA、RA、アルバイト収入含めず））	申請可否
博士後期・博士課程	日本人学生	HaKaSe ⁺ for SPRING	あり			×
		HaKaSe ⁺ for BOOST	なし	在職	あり	×
					なし	○
				無職	あり	×
					なし	○
	外国人留学生	HaKaSe ⁺ for SPRING	あり			×
			なし	在職		×
				無職		○
		HaKaSe ⁺ for BOOST	あり			×
			なし	在職	あり	×
					なし	○
				無職	あり	×
					なし	○
博士前期・修士課程/学士課程（6年制）5・6年次	日本人学生	HaKaSe ⁺ 予約採用				○
	外国人留学生	HaKaSe ⁺ 予約採用				×

※ 具体的な事業例

- 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）
- 科学技術振興機構（JST）「次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）」
- 科学技術振興機構（JST）「次世代AI人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」
- 独立行政法人国際協力機構（JICA）から支援を受けるJICA留学生
- 科学技術振興機構（JST）「日ASEAN科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）」の若手育成対象者

1. HaKaSe⁺の目的・概要

金沢大学は、我が国そして世界のイノベーション創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材の育成・輩出に力を注いでいる。

「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト（HaKaSe⁺）」（以下「HaKaSe⁺」という）は、本学が国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による機関支援を受けて実施する次に掲げる事業を柱とし、志高い博士学生への支援を強化するとともに、本学学生の博士後期・博士課程への進学を後押ししている。

- ・「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト（HaKaSe⁺ for SPRING）
[令和 6（2024）年度～]
- ・金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト（HaKaSe⁺ for BOOST）[令和 6（2024）年度～]

HaKaSe⁺各事業では、経済的支援をはじめ、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を強化し、社会に貢献する博士人材の育成を目指している。

HaKaSe⁺に申請し採用された博士学生には、採用事業の支援内容に応じて奨励金及び研究費の支給、旅費補助等を含めいずれか1つの事業から支援を行うことで研究専念環境を整備し、HaKaSe⁺及び各事業が課す採用者の義務の履行を求める。

さらに、博士学位取得後の活躍を誓い本学博士後期・博士課程への進学を確約した上で博士前期・修士課程に進学又は在学する学生及び医薬保健学域薬学類5年次に進級若しくは在学又は6年次に進級する学生を、HaKaSe⁺の「予約採用者」として選拔し、博士前期・修士課程又は医薬保健学域薬学類5年次及び6年次在学中の経済的負担が軽減されるよう支援する。

磨き上げる高い専門性と研究基盤力を礎に新たな知の創造に挑む挑戦的かつ学際的な研究に邁進し、

社会における新たな価値創造を担う意欲ある学生を募集する。

各事業の詳細は以下のとおりである。

【「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト（HaKaSe⁺ for SPRING）】

多様な博士学生が本学に集い、社会の様々なセクターを含む「知」の共創と往還による共修共学環境のなかで、高度な専門性を社会の多様なセクターや分野で展開して、未来への新たな価値を生み出し、社会を牽引していくイノベティブな博士人材「新価値創造人材」を育成するプロジェクト。自身の研究分野にとらわれない広い視野、社会課題と向き合う姿勢と行動力を持ち、我が国及び世界の科学技術の進展やイノベーションの創出に貢献する優秀で志高い博士人材を支援する。

【金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト（HaKaSe⁺ for BOOST）】

高度な AI 知識とスキルに裏打ちされた、先端的な AI 理論研究や様々な専門分野における AI 応用研究を推進し、次世代 AI の研究開発を牽引していく博士人材を育成するプロジェクト。AI 学術領域への探究心と、創造的な AI 研究を実施できる資質を有することを重視し、AI 理論研究又は応用研究を推進し AI 研究に関する知識とスキル、研究経験を既に有している博士学生に加え、自身の研究分野において AI を取り入れ研究を推進していこうという高い意欲を持つ博士学生を支援対象とする。

本プロジェクト採用者は、進化の著しい AI 技術をキャッチアップし、AI エンジニア・データサイエンティストとしてのスキルを持ち、これを駆使して自身の研究に最適な AI の研究開発を遂行するレベルへ到達すること、及び AI 研究の学会発表や論文発表を行うことが必須となる。そのため、本プロジェクトが実施する「AI 理論教育」「AI レクチャー&実習」「AI キャッチアップセミナー」「AI 研究交流」への参加を課す。併せて、知の共有により知識循環を促し、金沢大学の AI 研究を加速させるため、論文発表による研究成果の創出に際しては、特許出願や機密保持等に差し支えない場合において、採用者及び指導教員が当該 AI 研究のサンプルデータやサンプルコード、ノウハウを学内で共有することを求める。

【博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用（HaKaSe⁺予約採用）】

※JST-SPRING の制度見直しの方針に基づき、日本人学生のみを対象とする。

博士学位取得後の活躍を誓約し本学大学院博士後期・博士課程への進学を確約する次の学生を「予約採用者」として選拔し、入学料及び授業料を全額免除（詳細は 2. 支援概要（2）経済的支援の内容に規定）するとともに、研究の世界へ誘う多様な企画へ参加できる制度。

- ・博士前期・修士課程に進学又は在学する学生
- ・医薬保健学域薬学類 5 年次に進級又は在学する学生
- ・医薬保健学域薬学類 6 年次に進級する学生

博士後期・博士課程において HaKaSe⁺から支援を受けるため、予約採用者は本学大学院博士後期・博士課程の入学者選抜試験合格の後、HaKaSe⁺の本選抜審査に合格する必要がある。本選抜審査の結果、合格となった者は、博士後期・博士課程において HaKaSe⁺ for SPRING に採用され、同事業の下で支援を受ける予定である。ただし、令和 8 年度以降の HaKaSe⁺ for SPRING に関しては、国による博士学生支援事業の継続を想定したものであり、変更の可能性がある。

なお、本学では、本学大学院博士前期課程から博士後期・博士課程への学内進学を希望する学生は、原則「博士論文研究基礎力審査（Qualifying Examination：QE）」により博士前期課程を修了することとしている。そのため、博士後期（・博士）課程への進学を確約する予約採用者のうち博士前期課程在学者にあっては無論のこと本原則を適用する。

2. 支援概要

(1) 支援対象となる研究科/学域・課程・専攻/学類等

プロジェクト	研究科/学域	課程	専攻/学類等
「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)	全研究科	博士後期課程・博士課程	全専攻
金沢大学AI Open Science基盤の知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	全研究科	博士後期課程・博士課程	全専攻
博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)	全研究科	博士前期課程・修士課程 (博士後期・博士課程へ進学する者)	全専攻 (日本人学生に限る)
	医薬保健学域	学士課程(6年制) (博士課程(4年制)へ進学する者)	薬学類5年次及び6年次 (日本人学生に限る)

(2) 経済的支援の内容

各事業が提供する経済的支援は下表のとおり。

(令和8年度適用)

		「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe+ for SPRING)		金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe+ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe+ 予約採用)
支援期間 (原則)		博士後期課程又は博士課程(4年制) の標準修業年限内		博士後期課程 又は博士課程(4年制) の標準修業年限内	博士前期・修士課程 の標準修業年限内 又は医薬保健学域薬学類 5年次及び6年次の 標準的な修業年限 (2年間)の範囲内
学生区分		日本人学生	国費及び私費外国人留学生	日本人学生及び 私費外国人留学生	日本人学生のみ
博士前期・ 修士課程 /学士課程 (6年制) 5・6年次	奨励金/月				—
	RA給与				—
博士後期・ 博士課程	奨励金/月	180,000円	—	250,000円	
	研究費/年	400,000円	400,000円	900,000円	
	RA給与/年	—	上限 約240,000円 (私費外国人留学生に限る)	—	
旅費等支援		独自支援有	独自支援有	独自支援有	—
入学料免除		—	—	—	全額免除 ・博士前期・修士課程は 採用年月の入学者のみ ・学士課程(6年制)は 博士課程(4年制)入学 時の入学料に代える
授業料免除		半額免除	—	半額免除	全額免除

経済的支援は、HaKaSe+採用者及び予約採用者に対する特例である。したがって、HaKaSe+の採用又は予約採用を辞退等した場合、その他の場合に、支援を停止し、奨励金、研究費及びその他 HaKaSe+が支給した全ての経済的支援の返還並びに免除した入学料及び授業料の支払いを求めることがある。

なお、予算や制度変更等の状況により、経済的支援の内容を変更する場合がある。

採用決定後、採用日までに渡日できない場合、未渡日の日を含む月の奨励金は支給しない。月の途中で渡日した場合は翌月から奨励金の支給を開始する。研究費もまた、奨励金支給開始月から使用開始となる。

HaKaSe+のうち授業料半額免除を適用する事業に採用された場合において、別途、本学独自の授業料免除制度に申請し、当該申請の結果が半額免除であるときは、HaKaSe+による授業料半額免除のみを適用する。

3. 申請要件

(1) 募集人員

募集人員は下表に規定するとおりである。

申請者は、(2)に規定する申請資格を確認のうえ、申請時に希望する事業を選択すること。なお、採用事業は審査結果及び研究計画の内容を踏まえ HaKaSe⁺が決定する。そのため、希望が叶わないことがあるので留意すること。

「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for BOOST)	博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe ⁺ 予約採用)
45名程度	3名	25名程度

(2) 申請資格

HaKaSe⁺の趣旨を理解し、標準修業年限内での博士学位取得及び博士後期・博士課程修了に向けた研究への高い意欲とあくなき探求心を有するとともに、博士学位取得後は高度な専門性を社会の多様なセクターで展開し、日本の科学技術の進展及びイノベーションの創出、より良い未来社会の創造に貢献したいという気概ある者であって、以下に示す要件を全て満たすこと。

なお、HaKaSe⁺予約採用は博士学位取得後の活躍を誓約する者を後押しする制度であることに鑑み、博士前期課程及び修士課程進学者及び在学者又は医薬保健学域薬学類5年次進級者・在学者若しくは6年次進級者にあつては博士後期・博士課程への進学を確約しない者は申請資格を有さない。

① 令和8年4月1日時点で下表に規定する研究科/学域・課程・専攻/学類に在籍する者

			「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe ⁺ for SPRING)	金沢大学AI Open Science基盤の 知識循環が可能にする 先駆的AIクロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for BOOST)	博士研究人材支援・ 研究力強化戦略プロジェクト 予約採用 (HaKaSe ⁺ 予約採用)
新学術創成 研究科	修士課程	総合知創出科学専攻	—	—	○ ※3
	博士前期課程	融合科学共同専攻	—	—	○ ※3
		ナノ生命科学専攻			
	博士後期課程	融合科学共同専攻	○ ※1	○ ※2	—
人間社会環境 研究科	博士前期課程	全専攻	—	—	○ ※3
	博士後期課程	人間社会環境学専攻	○ ※1	○ ※2	—
自然科学 研究科	博士前期課程	全専攻	—	—	○ ※3
	博士後期課程	全専攻	○ ※1	○ ※2	—
医薬保健学 総合研究科	修士課程	医科学専攻	—	—	○ ※3
	博士課程（4年制）	医学専攻	○ ※1	○ ※2	—
		薬学専攻			
	博士前期課程	創薬科学専攻	—	—	○ ※3
		保健学専攻			
	博士後期課程	創薬科学専攻	○ ※1	○ ※2	—
先進予防医学 研究科	博士課程（4年制）	保健学専攻			
		先進予防医学共同専攻	○ ※1	○ ※2	—
法学研究科	修士課程	法学・政治学専攻	—	—	○ ※3
医薬保健学域	学士課程（6年制）	薬学類	—	—	○ ※4

※1 日本人学生は在学月数12月以内の者のみ、かつ、過去のHaKaSe⁺選抜において不採用となった者の再申請は一度のみ認める（予約採用申請時の不採用は含まない）。

私費外国人留学生は令和8年度4月期入学者のみ。

※2 博士後期課程は、令和8年度4月期入学者又は令和7年度4月期入学者のうち在学月数12月の者のみ。

博士課程(4年制)は、令和7年度4月期入学者のうち在学月数12月の者又は令和6年度4月期入学者のうち在学月数24月の者のみ。

※3 在学月数12月以内の者のみ。**日本人学生に限る。**

※4 医薬保健学域薬学類5年次又は6年次に進級している者かつ5年次進級後の在学期間が12月以内の者のみ。**日本人学生に限る。**

- ② 「7. 採用者の義務」に規定する事項の遵守を確約できること。
- ③ 主任指導（予定）教員の推薦を得ること。
- ④ 博士後期・博士課程において「ジョブ型研究インターンシップ」の専用システムに必ず登録すること。
併せて、企業が提示するジョブディスクリプション（業務内容、必要とされる知識・能力等）を積極的に閲覧し、応募を検討すること。
（参考）<https://career-support.adm.kanazawa-u.ac.jp/internship/jobtype/>
- ⑤ 博士後期・博士課程において科学技術・学術政策研究所（NISTEP）「博士人材データベース（JGRAD）」に必ず登録し、博士後期・博士課程修了後も引き続き自身のキャリアの状況を登録・更新すること。
（参考）<https://jgrad.nistep.go.jp/>
- ⑥ HaKaSe⁺予約採用者のうち博士前期課程在学者においては、原則、QEにより博士前期課程を修了し、本学大学院博士後期（・博士）課程に進学すること。
- ⑦ HaKaSe⁺ for SPRING 採用者のうち日本人学生、HaKaSe⁺ for BOOST 採用者、及び HaKaSe⁺予約採用者にあつては、日本学術振興会特別研究員 DC1 又は DC2 の申請資格を満たす場合、少なくとも一度必ず申請すること。なお、一度不採用となった者は、可能な限り、翌年度 DC2 へ応募すること。日本学術振興会特別研究員（DC1・DC2）は全国の博士学生の中から厳正な審査を経て選ばれる優秀な博士学生であり、将来、博士人材としてのキャリアを構築していく上で有益である。採用された際には、DC1 又は DC2 として研究に専念することを強く推奨する。
- ⑧ 本学大学院博士後期・博士課程修了後の進路において、博士学位をもって、我が国の科学技術・イノベーションの創造に貢献すること、及び在学中から計画的に就職活動を行い、修了後速やかに就職すること。なお、HaKaSe⁺ for BOOST 採用の外国人留学生の場合は、本学大学院博士後期・博士課程修了後、3年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約する者。
- ※博士後期・博士課程を修了しなかった場合及び修了時にこの要件を満たさないことが判明した場合、原則、採用以降に支給した奨励金、研究費及びその他のプロジェクトが支給した全ての経済的支援の返還並びに免除した入学金及び授業料の支払いを課す。
- ⑨ 上記に関わらず、以下（a）、（b）のいずれかに該当する者は申請資格を満たさない。
- （a）重複受給等の制限
- 次に掲げる経済的支援等を受けている者は、HaKaSe⁺による支援を受給することはできない。なお、HaKaSe⁺ for SPRING、HaKaSe⁺ for BOOST、HaKaSe⁺予約採用で、それぞれ要件が異なることに留意すること。
- ただし、申請時に重複受給等の制限に該当する奨学金等の収入がある場合でも、当該奨学金等の受給を辞退することにより、令和8年4月1日の時点において申請要件を満たすことが可能な場合には、HaKaSe⁺に申請することを認める。
- また、他の奨学金による経済的支援を受給しているあるいは受給予定であり、かつ当該奨学金側で併給を認めていない場合には、その奨学金のルールに従う必要がある。そのため、必ず HaKaSe⁺への申請に先立ち、申請者自身の責において当該奨学金側に併給に関する制限の有無を確認すること。本事業での支援が決定した際には、その奨学金を辞退する等の適切な手続きを行うこと。
- なお、各事業の要件とは別に、HaKaSe⁺ for BOOSTでは、博士前期・修士課程において国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生が本学大学院博士後期・博士課程に進学するに際しては、原則として、同制度の延長申請の結果が不採用である場合に限り HaKaSe⁺ for BOOSTの採用対象とする。
- 重複受給等の制限に関し不明な点がある場合は、9. その他（2）問合せ先に確認すること。

【HaKaSe⁺ for SPRING】

(日本人学生)

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として研究奨励金を受給している者
- ・奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者
- ・以下に該当する社会人学生

なお、以下の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは HaKaSe⁺におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できる状況にないと判断される場合には、支援対象としない。

- 所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240 万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者
- 所属企業等から十分な生活費相当額（240 万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者

※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）大学院第一種奨学金を受給することを妨げないが、令和 5 年度以降に博士後期・博士課程において JASSO 大学院第一種奨学生として採用された者にあつては、HaKaSe⁺ for SPRING の支援を受けた場合、「特に優れた業績による奨学金返還免除制度」の候補者の対象とならないことに留意すること。

(外国人留学生)

- ・学生自身の自由で挑戦的・融合的な研究に専念するための国費による研究費支援を受ける者
国費による研究費支援は、以下のような支援制度をいう。
 - 独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）
 - 科学技術振興機構（JST）「次世代 AI 人材育成プログラム（博士後期課程学生支援）」
 - 独立行政法人国際協力機構（JICA）から支援を受ける JICA 留学生
 - 科学技術振興機構（JST）「日 ASEAN 科学技術・イノベーション協働連携事業（NEXUS）」の若手育成対象者
- ・日本国内外の機関・法人に在職しながら本学大学院（博士後期・博士課程）に在学する者

【HaKaSe⁺ for BOOST】

- ・独立行政法人日本学術振興会の特別研究員（DC）として研究奨励金を受給している者
- ・国費外国人留学生制度による支援を受ける外国人留学生
- ・母国の奨学金等による支援を受ける外国人留学生
- ・奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者
- ・以下に該当する社会人学生

なお、以下の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは HaKaSe⁺におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できる状況にないと判断される場合には、支援対象としない。

- 所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240 万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者
- 所属企業等から十分な生活費相当額（240 万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者

※独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）大学院第一種奨学金を受給することを妨げないが、令和 5 年度以降に博士後期・博士課程において JASSO 大学院第一種奨学生として採用された者にあつては、HaKaSe⁺ for BOOST の支援を受けた場合、「特に優れた業績による奨学金返還免除制度」の候補者の対象とならないことに留意すること。

(b) 令和 8 年 4 月 1 日から休学を予定している者

4. 申請手続き

(1) 申請方法

申請者及び主任指導（予定）教員それぞれが、以下に従い、(2)に掲げる所定の申請書類を申請期間内に提出すること。

一度提出した申請書類の変更は認めない。申請書類が揃っていない等の不備があった場合も同様とし、そのまま審査を行う。

・申請者：

(2) 申請書類 a～c 及び e～i を一つのファイル（PDF 形式）にし、電子メールに添付し提出すること。

※ファイル名を必ず「申請者の氏名（フルネーム）」とすること。

※メールのタイトルを必ず全て半角英字で「HaKaSe+Application for Selection」とすること。

※申請書類を提出する際は、申請書類 a「本人連絡先」に記載のメールアドレスから提出すること。

・主任指導（予定）教員：

(2) 申請書類 d を PDF 形式にて、電子メールに添付し提出すること。

※ファイル名を必ず「申請者の氏名（フルネーム）推薦書」とすること。

※メールのタイトルを必ず「HaKaSe+推薦書_申請者の氏名（フルネーム）」とすること。

(2) 申請書類

a. 申請書 (Application Form A-1 又は A-2)

b. 同意書 (Application Form B-1 又は B-2)

※同意書に記載の全ての事項に同意できない場合は申請を受理しない。

c. 研究計画調書 (Application Form C-1 又は C-2、C-2-1)

※HaKaSe+ for BOOST を希望する者は、C-2 及び C-2-1 を提出すること。

d. 主任指導（予定）教員推薦書 (Recommendation letter of (prospective) primary supervisor)

e. 成績証明書（学士課程以後、卒業・修了した及び現に在籍している全ての課程。ただし、編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学等前の成績証明書も併せて提出すること。）

f. 令和 8 年 4 月以降において、所属企業等から給与・役員報酬等の収入を得る予定の者にあつては、雇用形態及び勤務条件並びに収入を証明する書類（HaKaSe+ for SPRING のみに申請する外国人留学生は提出不要）

g. 各研究科大学院入学者選抜試験における合格通知書（写）又は受験票（写）

※令和 8 年 4 月 1 日進学／入学予定者のみ。

※本学博士前期課程修了（予定）者で、博士論文研究基礎力審査（QE）により修了する者は QE の合格通知書（写）ではないことに留意すること。

※今後出願予定又は受験予定の者で、申請時に受験票の印刷を終えていない者は、申請書類を提出する際にメール本文にその旨記載するとともに、印刷でき次第速やかに受験票（写）を提出すること。

h. HaKaSe+ for SPRING 申請者にあつては、HaKaSe+ for SPRING 申請者用チェックリスト (Application Form D)

i. 外国籍の者にあつては、在留資格カード（表・裏）（写） (Application Form E)

(3) 申請期間

令和 7 年 12 月 24 日（水）～令和 8 年 1 月 14 日（水）正午 [必着]

※申請者及び主任指導（予定）教員が提出する申請書類の双方が、申請期間内に到着した申請のみ受け付ける。なお、申請書類の到着に関する問合せや主任指導（予定）教員から「d. 主任指導（予定）教員推薦書」の提出があったかどうかの問合せには応じない。

(4) 提出先

学務部学務課

E-mail : jisedai[at]adm.kanazawa-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えること。

※申請者からの申請メールに対しては受信メールが自動送信される。なお、申請が受理されたことを示すものではないことに留意すること。

5. 選抜方法

書面審査及び面接審査を実施する。

(1) 審査方法

審査は次表のとおり実施し、書面審査及び面接審査の結果等を総合的に判断し、合否を決定する。

日本人学生 外国人留学生（HaKaSe ⁺ for BOOST 申請者）	書面審査及び面接審査を実施する。
外国人留学生（HaKaSe ⁺ for SPRING 申請者）	— (原則として書面審査により採用者を決定する。)

・書面審査

提出のあった申請書類に基づき実施する。

なお、書面審査において、令和8年4月1日入学者にあっては、各研究科が実施する博士後期・博士課程又は博士前期・修士課程の大学院入学選抜試験の成績を確認する。学士課程（6年制）5年次又は6年次進級者にあっては、当該学類が実施する進級判定の情報を確認する。

・面接審査

面接審査対象の当否は、令和8年1月27日（火）までに申請書類に記載の E-mail 宛てに通知する。万が一、期日までに通知がなかった場合、4. 申請手続き（4）提出先まで連絡すること。

面接審査対象者には、研究計画調書（Application Form C-1 又は C-2、C-2-1）の記載に基づく面接審査を行う。面接審査は、次のとおり実施するため、申請者はプレゼンテーションデータ提出期限を厳守するよう準備すること。

- ・プレゼンテーション（10分以内〔厳守、最低8分〕）及び質疑応答（10分程度）により構成する。使用言語は日本語又は英語とする。
- ・プレゼンテーションでは申請者が作成したスライドデータを必ず用いることとし、発表内容及び発表で使用するスライドデータは、研究領域や専門分野の異なる研究者に伝わるよう工夫して作成すること。
- ・面接審査対象である旨の通知を受領した申請者は、令和8年1月28日（水）正午〔必着〕までにプレゼンテーションデータ（パワーポイント及びPDFファイル、同一内容とすること）を提出すること。ファイル容量が大きい場合は、各自の責任においてファイル送信サービス等を用いて提出すること。期限までに提出がない場合は、面接審査を辞退したものとしみなす。なお、面接審査の詳細は、対象者宛てに通知する。
- ・面接審査は、令和8年2月初旬～中旬（土日・祝日を含む）に実施する。各申請者の面接審査日時は HaKaSe⁺が指定する。

※なお、危機管理上の観点などにより本学が必要と認める場合は、Web コミュニケーションツールを用いて面接審査を行うことがある。

(2) 審査の観点

審査の観点は以下のとおりとする。

- ・社会課題への関心と、HaKaSe⁺選抜学生として取り組む自身の研究の位置付け
- ・研究の目的・目標・意義、及び研究内容の挑戦性・独創性
- ・研究遂行能力と、発展的な展開への期待
- ・目指す博士人材像の「HaKaSe⁺」趣旨との合致
- ・キャリアビジョンと我が国の科学技術・イノベーションへの貢献

なお、HaKaSe⁺ for BOOST を希望する者に対しては、上記に加え、以下の観点を付す。

- ・AI 研究に関する知識・スキル及び研究経験や研究実績
- ・次世代 AI 研究を遂行することへの意欲と資質

6. 選抜結果発表・採用日

選抜の結果は、令和8年3月末日までに申請書類に記載の E-mail 宛てに通知する。

採用日は令和8年4月1日とする。

7. 採用者の義務

採用者には、次の事項を履行する義務がある。HaKaSe+が、義務の不履行を認めたとき又は(4)の報告に基づき支援の継続が適当でないと認めたときに、支援の停止、採用の取消、経済的支援の返還請求等の対応を取る。

- (1) HaKaSe+の理念を理解するとともに、公費により支援を受けることを十分に自覚したうえ、学業及び研究に専念し、学会発表や論文発表等研究成果を創出し、かつ標準修業年限内に本学大学院博士後期・博士課程を修了すること。
- (2) 金沢大学がHaKaSe+主催又は共催により実施する研究力向上等及びキャリア形成支援に関するプログラムを受講し、受講者アンケートやフォローアップに回答すること。受講プログラムの選択及び受講数については、HaKaSe+が別途指示する要件を満たすこと。
- (3) HaKaSe+ for BOOST に選抜された学生にあっては、(2)は推奨とする。ただし、同プロジェクトが実施する「AI 理論教育」「AI レクチャー&実習」「AI キャッチアップセミナー」「AI 研究交流」に参加して次世代 AI の研究開発を遂行する知識とスキルを高め、支援期間中に AI 研究の学会発表や論文発表を行うこと。
- (4) 毎年度、学修及び研究の進捗状況並びに成果等について、所定の様式により報告すること。
- (5) 博士人材支援の実施に際し、文部科学省、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)、独立行政法人日本学術振興会 (JSPS) や金沢大学等が実施する各種調査、アンケート、フォローアップに、本学在籍中のみならず修了後においても協力すること。
- (6) 採用された事業により得た研究成果を発表する場合は、当該事業により助成を受けた旨を明記すること。
- (7) 奨励金及び RA 給与(対象者に限る)に関する税法上の手続き等を実施すること。奨励金は、税法上「雑所得」として扱われ課税対象となることから、確定申告が必要となる。また、奨励金及び RA 給与の受給により、親又は親族等の被扶養者となっている場合の健康保険や扶養手当等における扶養扱いが変わる可能性がある。そのため、各自で税務署又は扶養者若しくは扶養者の勤務先担当者等へ確認し、必要な手続きを行うこと。
- (8) その他、採用された事業が定める各種事項を遵守すること。

8. 個人情報

- ・ HaKaSe+が選抜、採用手続き時及び採用後に取得する全ての個人情報は、選抜に係る業務及び HaKaSe+に関する業務全般を遂行するために利用する。その際、HaKaSe+が業務遂行に必要な範囲内で国立大学法人金沢大学個人情報管理規程に基づき、保有個人情報等の取扱いに係る業務を外部に委託することがある。
- ・ 選抜に用いた試験成績などの個人情報は、選抜結果の集計・分析及び選抜方法の調査・研究のために個人を特定しない範囲で利用する。
- ・ HaKaSe+の選抜に当たり、研究科における大学院入学者選抜試験の資料及び医薬保健学域薬学類における進級判定の資料を利用する。
- ・ 採用者の氏名・所属等は Web サイト及び各種報告書等の印刷物で公表する場合がある。
- ・ HaKaSe+活動の記録として、授業、イベント等の写真を報告書等の印刷物及び Web サイトで公表する場合がある。

9. その他

(1) 入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除申請

HaKaSe⁺の採用が決まった場合には、2. 支援概要（2）経済的支援の内容に規定する入学料・授業料免除が適用されることから、3. 申請要件（2）申請資格①に基づき、申請者各自の申請可能な事業に応じて、下表のとおり手続きを行うこと。

【各自の申請可能な事業に応じた必要手続き】

	「知」の共創と往還で実現する新価値創造人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for SPRING)	金沢大学 AI Open Science 基盤の知識循環が可能にする先駆的 AI クロスオーバー博士人材育成プロジェクト (HaKaSe ⁺ for BOOST)	博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト予約採用 (HaKaSe ⁺ 予約採用)
入学料（令和 8 年 4 月 1 日入学予定者対象） ※令和 8 年 3 月に本学大学院博士前期課程又は修士課程を修了し、引き続き博士後期課程又は博士課程に進学する者を除く。	入学料免除（徴収猶予）の申請を行うことは妨げない。	必ず入学料免除（徴収猶予）の手続きを執り、選抜結果の判明まで入学料を納入しないこと。 <u>入学料免除（徴収猶予）を申請した者は、HaKaSe⁺予約採用への採用を以て必ず取下げを連絡すること。</u>	
授業料（令和 8 年 4 月 1 日入学予定者及び在学者対象）	授業料免除の申請を行うことは妨げない。	授業料免除の申請を行うことは妨げない。 <u>申請した者は、HaKaSe⁺ 予約採用への採用を以て必ず取下げを連絡すること。</u>	

【申請方法】

HaKaSe⁺の選抜結果に関わらず入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除の適用を希望する者は、次の金沢大学 Web サイトを確認し、申請要項に従って手続きをすること。

ただし、HaKaSe⁺予約採用の申請対象者は、HaKaSe⁺予約採用に採用された場合に入学料及び授業料の全額免除が適用されるため、入学料免除（徴収猶予）及び授業料免除の申請に当たっては、様式上部に「令和 8 年度 4 月期 HaKaSe⁺申請」と記載した本人調書（様式 1-1、1-2）のみの提出でよいが、HaKaSe⁺予約採用に不採用となった場合でも入学料免除（徴収猶予）又は授業料免除を希望する場合は、入学料免除（徴収猶予）又は授業料免除申請要項に従い、申請書類一式を準備の上、申請すること。

[入学料免除・入学料徴収猶予 Web ページ]

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/exemption_grace

[授業料免除 Web ページ]

https://www.kanazawa-u.ac.jp/students/economic/tuition_waiver/graduate_students

HaKaSe⁺の採用が決まった場合には、2. 支援概要（2）経済的支援の内容に規定する各事業の入学料・授業料免除の適用に係る手続きを学務部学務課において行う。採用されなかった場合は、本学が指定する期間に所定の入学料又は授業料を徴収する。ただし、本学独自の入学料・授業料免除制度に申請中の者については当該選考結果に基づき徴収する。

(2) 問合せ先

金沢大学学務部学務課

〒920-1192 石川県金沢市角間町 金沢大学角間キャンパス 本部棟 2 階

E-mail : jisedai[at]adm.kanazawa-u.ac.jp ※[at]を@に置き換えること。

Web サイト : <https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

※必ず申請者本人が問い合わせること。

※申請の受理や選抜結果等に関する個別の問合せには応じない。

(3) その他

- ・申請書類の返却は行わない。
- ・提出書類の内容に虚偽が判明した場合は、選抜後でも採用を取り消す場合がある。この場合、支給済みの経済的支援の全額返還並びに免除した入学料及び授業料の支払いを課す。
- ・申請者への連絡は申請書類に記載の E-mail アドレスに行う。そのため、E-mail アドレスは、大学からのメール (kanazawa-u.ac.jp) を確実に受信できるアドレスとすること。添付ファイルを送信する場合があるため、携帯電話のアドレスは認めない。